



企画出展の手引き

駒場祭企画出展ガイダンス配布資料

はじめに

- 『企画出展の手引き』は、第73回駒場祭で初めて企画を出展することを考えている皆さんに向けて作成したものです。
- 『企画出展の手引き』では、以下の内容を説明しています。
 - » 駒場祭の魅力について
 - » 駒場祭当日までの準備の流れ
 - » 委員会からの各種サポートの紹介
- 企画出展にあたっては、**必ず『Almighty vol. 1』を参照してください。**
 - » 『Almighty vol. 1』<https://www.komabasai.net/73/system/static/files/session1/KF73_Almighty_vol_1.pdf>は、企画出展に必要な各種登録や注意事項についてまとめたものです。

駒場祭とは

概要

駒場祭の概略

- 駒場祭は東京大学駒場キャンパスを舞台とし、11月下旬の3日間にわたって開催される学園祭であり、今年で73回目を迎えます。
- クラス・サークルなどが多種多様な「企画」を出展します。
- 新型コロナウイルスの流行前に対面で開催された第70回駒場祭では、約10万人の来場者が訪れました。



駒場祭と東大生

- 駒場祭の賑わいは、皆さんが出展する企画によって作られています。つまり、**皆さんが出展する企画こそが、駒場祭の主役です。**
- 駒場祭への関わり方、楽しみ方は人それぞれです。駒場祭には「みんなの『やりたいこと』を自由にやってみる場」や「非日常空間を楽しむ場」といった、様々な側面があります。
- 駒場祭委員会は、企画を出展する皆さんの悩みに最大限寄り添い、適切なサポートを行います。
- 過去の駒場祭で出展された企画については、過去の駒場祭公式ウェブサイトを参照してください。
 - » 第72回駒場祭公式ウェブサイト：<https://www.komabasai.net/72/visitor/kikaku>
 - » 第71回駒場祭公式ウェブサイト：<https://www.komabasai.net/71/visitor/kikaku>

日程

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

11月17日(木)

- 駒場祭準備(午後は授業なし)

11月18日(金)・19日(土)・20日(日)

第73回駒場祭

11月21日(月)

- 駒場祭片付け(午前は授業なし)

企画と駒場祭委員会

企画

- 「企画」とは、駒場祭に出展する催し物の単位のことを指します。
 - » 複数の団体が合同で企画を出展することなども可能です。
- 東大生の皆さんは、「企画」を出展することで駒場祭に参加できます。
- 1つの企画につき、正責任者と副責任者をそれぞれ1人ずつ置く必要があります。
 - » 複数の企画の企画責任者を兼任することはできません。
 - » 詳しくは、『Almighty vol. 1』記載の「企画参加に関する規則」を参照してください。

駒場祭委員会の役割

駒場祭委員会は、皆さんをサポートするためにさまざまな業務を行っています。以下はその一例です。

- 企画代表者会議を通して、駒場祭の安全な運営のために企画の皆さんに注意していただきたい事項および各種登録の手順についてお知らせします。
 - » 複数回開催される企画代表者会議で、各種申請の方法を記載した『Almighty』を配布します。
 - » その他、企画出展の参考になる資料を配布します。
- 企画の希望に合わせて、企画場所や時間の割り振りを行います。
- 各種相談会や支援制度を通して、アドバイスなどのサポートを行います。
- 保健所・消防署などの諸機関との手続きを仲介します。
- 企画実行に必要な物品・機材などのレンタルを仲介します。
- 駒場祭公式ウェブサイト・公式パンフレットなどを作成し、東大生が創り上げた企画が来場者から関心をもっていただけるように広報します。

駒場祭の魅力

0から企画を形にする

- 駒場祭をあなたのやりたいことを可能にする魔法のような空間にすることを、駒場祭委員会は目指しています。
- 大学生活の中で、学園祭ほど自分の「やりたいこと」を形にできる場所はありません。
- 駒場祭では、長い歴史の中で多種多様な「企画」が実行されてきました。
 - » 著名人を呼んで講演会を実施した企画
 - » 来場者参加型の謎解きゲームを作った企画
 - » 教室いっぱいに広がる、超巨大展示を作成した企画
 - » クラスで文学雑誌を製作した企画
- 自分で考えた企画が成功した時の楽しさは、かけがえのないものです。
- 自分たちのやりたいことが企画として成功したときの言葉にならない喜びを、皆さんも駒場祭で体験してみませんか？

仲間と企画をやりとげる

- 「なにを」やるかだけではなく、「だれと」やるかというのも、駒場祭を楽しむうえで大切な要素です。
- 駒場祭は、企画の成功のために一丸となって努力することでクラス・サークルの一体感を醸成するまたとない機会です。
 - » クラスでもサークルでも、全員で何かを創り上げる機会はなかなか多くありません。
- 駒場祭は、高校の学園祭よりもはるかにスケールの大きなお祭りです。
- 企画を仲間とともに創り上げることで、大学生活の思い出を残しましょう！

企画責任者の役割

企画責任者が駒場祭当日までにすることを紹介します。

委員会とのやりとり

企画代表者会議

- 企画代表者会議では、駒場祭への企画出展に必要な各種登録や今後のスケジュールについて説明します。
 - » 企画の場所割や時間割を企画同士で調整する場が設けられることもあります。
 - » 重要な連絡や『Almighty』など各種資料の配布を行います。
- **企画責任者の方は必ず出席してください。**
 - » 可能な限り、企画責任者2名ともが出席してください。
 - » 企画責任者の方が出席できない場合は代理の方の出席でもかまいません。

ウェブシステム

- ウェブシステムは、委員会と企画のやりとりに用いるツールです。
- 駒場祭に企画を出展するにあたって必要な各種登録は、すべてウェブシステムを通じて行います。
 - » 登録の締切に遅れたり、委員会からの連絡を確認していなかったりした場合、企画の実行に際して不利益を被る可能性があります。

問い合わせ

- 委員会からの連絡はウェブシステムの「問い合わせ」を通じて企画責任者に送られます。「問い合わせ」を受信した場合は、ユーザー登録の際に登録したメールアドレスに通知が届くので、確認してください。
- ご相談・ご質問がある場合には「問い合わせ」にて委員会にご連絡ください。
 - » 「問い合わせ」の内容を他の企画に見られることはありません。
- **原則として、「問い合わせ」以外の手段で駒場祭委員会に連絡することはお控えください。**
 - » 企画出展手続きを行うまでは、「駒場祭企画サポートLINE」(→[p. 18](#))を使用して、委員会に連絡することができます。詳しくは「委員会への連絡手段まとめ」(→[p. 19](#))を参照してください。

各種登録

第1段階：企画出展手続き

- 企画の出展に必要な登録です。**8月6日(土) 21:00**までに登録してください。
 - » 企画出展手続きを行わなかった場合、企画を出展することはできません。
 - » 一部の企画形態は締切が異なります。詳しくは『Almighty vol. 1』を参照してください。
- 企画責任者となる方はウェブシステムにて「ユーザー登録」を行ってください。
 - » ウェブシステムの利用にあたっては「ユーザー登録」が必須です。
- 正責任者が「企画登録」を行ってください。
 - » 「企画登録」では企画の概要を登録します。
- 「企画登録」の後、正責任者は副責任者となる方を招待してください。招待を受諾すると副責任者となります。
- 企画責任者は、企画実行に必要な各種登録を行います。

第2段階：企画実行のための詳細な登録

- 企画の詳細な登録です。**9月18日(日) 21:00**までに登録してください。
- **詳細は第2回企画代表者会議にて説明します。**現時点で登録することはできません。
- 委員会を通じたレンタル品の手配や広報内容の登録を行います。
 - » 企画内容の詳細に関する登録を行うので、事前に内容を固めておきましょう。

企画出展までのスケジュール

企画出展ガイダンス(第1回企画代表者会議)：7月1日(金)

駒場祭準備スタート！

準備期間1：8月6日(土)まで

企画の目的・やりたいことについて考えましょう。

- 企画出展相談会：7月7日(木)～12日(火)
 - » 企画の立案について委員がアドバイスします。
- 「企画内容面談」(→[p.17](#))：7月30日(土)、8月3日(水)～5日(金)
 - » 皆さんのやりたいことを、委員と話しながらブラッシュアップして具体化していきましょう。

企画出展手続き締切(第1段階)：8月6日(土)まで

企画の大まかなジャンル・企画形態・企画名などを決めましょう。

準備期間2：9月18日(日)まで

企画の詳細を詰めていきましょう。

- 企画書面談：8～9月
 - » 「企画支援制度」(→[p.16](#))を利用すると、企画書について委員のアドバイスを受け、より充実した企画作りが可能になります。
 - » 9月18日の登録締切までに、企画書を完成させることを目指します。

第2回企画代表者会議：9月2日(金)

9月18日(日)締切の各種申請について詳しく説明します。

各種登録締切(第2段階)：9月18日(日)

具体的な登録や申請が多いため、ここまでに企画内容を確定させましょう。

準備期間3：駒場祭当日まで

制作物の作成、広報などに取り組みましょう！

第3回企画代表者会議：11月上旬

駒場祭期間中の注意事項について説明します。

第73回駒場祭：11月18日(金)・19日(土)・20日(日)

- おもいきり楽しみましょう！
 - » 前日準備：11月17日(木) (教養学部は駒場祭準備のため午後休講)
 - » 片付け：11月21日(月) (教養学部は駒場祭片付けのため午前休講)

企画立案にあたって

- 企画を出展することが決定したら、以下のような流れで企画の詳細を固めていきます。
 - » スケジュールはあくまでも参考です。各種登録の期限を考慮して企画内で話し合い、出展までのスケジュールを決定しましょう。時間に余裕を持って企画準備に臨むため、早いうちから企画の詳細を確定していきましょう。立案のスケジュールおよび手順はあくまでも一例です。

第1段階(8月6日まで)

- ① 企画ジャンルや大まかな企画内容について案だしをします。
 - ② 出た案の中から候補を絞り、最終的に一つに決定します。
 - ③ 決定した企画案について以下の内容を検討します。
- 企画形態
 - » 企画形態とは、企画の実行場所による分類のことを指します。
 - » 屋内、屋外、ステージ、劇場、構外があります。
 - » 企画形態によって、行うべき登録や手続きが変わります。
 - 企画の推したいところ
 - » 企画のアピールポイントを決めることで、企画の概形が明確になります。
 - » 他企画と差別化することで、集客が見込めます。

※ ①～③の段階でお困りの方には企画出展相談会および企画内容面談への参加を推奨します。委員が皆さんの検討状況に合わせ、大まかな企画内容を決定するサポートをします。

第2段階(9月18日まで)

企画の概要が定まったら、詳細を決定していきます。

- 企画のコンテンツ
 - » 決定した企画ジャンルや大まかな内容をもとに、企画のコンテンツを考えます。
 - 何を行うか
 - 例) 謎解きゲームをオンライン上で公開する、来場者参加型のヨーヨー釣りを行う など
 - コンテンツの具体的な内容

例)ゲームのルール、実行方法 など

- 企画のターゲット

- » どんな客層に見てもらえる企画にしたいか、検討していきます。
- » ターゲットを明確にすることで、企画の方向性も決めやすくなります。

例)受験生、駒場生、小さい子供連れの家族、老若男女問わず など

- 準備するもの

- 資材の例

- 道具

例)机、テント、ダーツの的、ヨーヨー掬い用のプール など

※ 教室によっては固定の机や椅子などが利用できる場合もあります。屋内で行う企画は、それらの要否に応じて場所割を申請してください。

- 配信設備

例)パソコン、録画用カメラ、AV機器 など

- 景品

- 制作するもの

- 制作物の例

- 企画実行に必要な制作物

例)オリジナルクイズ、公開する動画 など

- 装飾物

例)パネル、デコレーション など

- 広報用の制作物

例)立看板、PR動画、ビラ など

- 必要なものの準備スケジュール

- 調達方法

例)レンタル/購入する場所、企画構成員が持ち寄れるかどうか など

※ レンタル品・購入品等は委員会の仲介や援助を受けることができます。詳細は第2回企画代表者会議にて説明します。

- 準備/制作スケジュール

- 制作物の分担

- 企画場所のレイアウト

- » 企画場所の教室やテントをどのように利用するかを考えます。

- 人の配置

例)企画構成員の同時滞在人数、来場者の収容人数、来場者の配置や動き など

-
- ものの配置
 - 例) 企画の実行場所、制作物や装飾物の設置位置 など
 - 広報手段
 - » 当日前および当日中の広報手段を考えます。
 - 当日前
 - 例) TwitterやInstagramアカウントの開設と運営、YouTubeでのPR動画の公開 など
 - 当日中
 - 例) 練り歩きや呼び込み、来場者へのビラ配布、立看板の設置 など
 - 当日のスケジュール
 - 例) 企画構成員のシフト組み、公開時間 など

企画インタビュー

第72回駒場祭に出展した企画の責任者2名にインタビューし、企画の準備や実行についての体験談を伺いました。

2021年度入学文科Ⅲ類18組

企画について

Q. 企画名

A. 文集～東大生、今どうしてる～

Q. 企画内容

A. キャンパスライフの現状、受験体験記、教授へのインタビュー、座談会やアンケートなどが詰まった文集をオンライン上で公開した。

準備段階について

Q. なぜ企画を出展したか

A. 上クラが駒場祭で文集を作って来場者に公開していたことを知り、引き継ぎたいと思ったから。

Q. どのようなスケジュールで進めたか

A. 出展とその内容を決めたのは7月末。8月中旬に文集に載せる記事を決めて、クラスの人たちに割り振った。記事は夏休みの間に書いてもらう予定だったが、書き終わらない人たちもいたため、最終的に出来上がったのは夏休みの後だった。

Q. 企画準備にはクラスのどのくらいが参加してくれたか

A. 実際に記事を書いたのは15人ほどだが、他の人たちもアンケートに回答するなど、間接的に関わってくれた。

Q. 準備の中で楽しかったことは何か

A. フランス語選択ということで、フランス料理を作って記事にした。その際、自宅でクラスの友達とフランス料理を作ったのがいい思い出。

Q. 準備段階でトラブルなどはあったか

A. オンラインでクラスの人と会う機会がほぼなかったため、どのくらい皆が企画の準備に取り組んでくれているのかを把握するのが難しかった。そのため、やることを割り振りにくく、自分でほとんど仕事を抱え込んでしまった。

Q. 企画責任者としての負担はどのくらいだったか

A. 編集ソフトを扱えたのが自分だけだったので、編集は1人でやっていた。そのため、授業が始まってからの時期は忙しく、大変だった。

当日について

Q. 当日楽しかったことはなにか

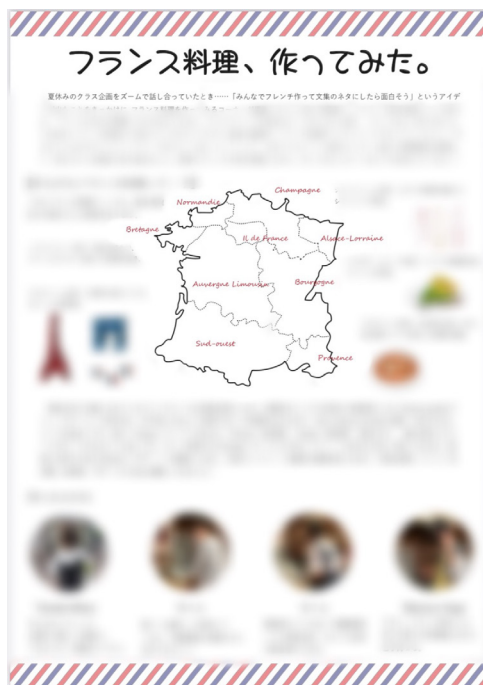
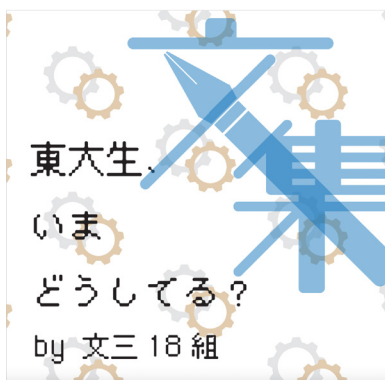
A. オンラインでの公開だったため、当日は同じクラスの人たちと旅行していた。その際、Twitterを通して閲覧者の反応などをみんなで追っていたが、楽しかった。

Q. クラスの雰囲気は変化したか

A. 文集が完成した後、クラスのみんなからプレゼントをもらった。クラスの人たちのやる気が掴めないまま企画を続けるのが不安だったが、私の頑張りをみんなが気づいてくれたのがわかってとても嬉しかった。

Q. 企画を出展してどうだったか

A. クラスのいい思い出になったので、良かった。迷っているクラスはぜひ出展してほしい。クラス全体で行うイベントはなかなかないので、一つの思い出作りだと思って参加してほしい。



2021年度入学理科Ⅰ類23組

企画について

Q. 企画名

A. 狼をあぶりだせ！ワードウルフで東大生と勝負

Q. 企画内容

A. Zoom上で来場者とクラスの数名がワードウルフを行う。

準備段階について

Q. なぜ企画を出展したか

A. 駒場祭に企画を出展したいかについてクラスでアンケートをとったところ、出展を希望する人が多かったから。

Q. 企画内容はどのように決定したか

A. 他の受験生や他世代の方々とも交流したく、来場者体験型のゲームをすることになった。

Q. どのようなスケジュールで進めたか

A. 7月の企画出展説明会の後、アンケートの結果で出展することが決まった。7月中旬に、企画内容をZoom上で話し合った。最終的に7月末ごろにオンラインとハイブリッド開催の両方の場合を考慮して、二つの案に絞った。本格的に準備を始めたのは開催形態が発表された後だった。

Q. 準備の中で楽しかったことは何か

A. 当日のシフトをもとにクラスを班に分け、班ごとにゲームで用いる話題を話し合ったこと。その際の交流を通してクラスの仲が深まった。

Q. 出展にあたってトラブルはあったか

A. トラブルは特になかった。分からないことは「問い合わせ」で委員会に聞いてすぐに解決できた。

Q. クラスのどのくらいが参加してくれたか

A. サークルなどの都合上、当日参加してくれたのは20人弱だった。

Q. 企画責任者および他の企画構成員の負担はどのくらいだったか

A. 責任者と副責任者の間で役割分担がきちんとできていたので、忙しすぎてサークルや学業に支障をきたすというようなことはなかった。クラスで参加してくれた人たちも、事前にワードウルフのお題を考えて、当日参加するだけだったので、大変ではなかったはず。

当日について

Q. 当日楽しかったことは何か

A. 東大に興味がある学生や、年配の方などが来てくれた。ワードウルフ後の余った時間で質問コーナーを行った際、受験のことだけでなく東大生の日常や恋愛事情などの話もしたのが楽しかった。そこで自分たちもクラスの人たちのことをより深く知ることができた。

Q. クラスの雰囲気は変わったか

A. クラス内での会話が増えた。シフトで同じだった人と仲良くなり、遊びに行くことも増えた。

Q. 駒場祭の魅力は何か

A. 来場者に東大のことを知ってもらえることはもちろん、自分たちの団体の中で仲良くなれることも魅力。



委員会からのサポート

委員会では、企画出展経験の少ない企画を対象に、企画出展にあたって充実したサポートを用意しています。ぜひ積極的に利用してみてください！

企画出展相談会

相談会とは

- 企画出展についての疑問や不安を委員が解決する「**企画出展相談会**」を開催します！
- 相談会では、企画内容を一緒に考えたり、ウェブシステム上での申請を委員と一緒に進めたりすることができます。
- その他、企画の実現性など、企画出展に関するあらゆる質問に委員がお答えします。
- 参加は必須ではありませんが、皆さんの参加をお待ちしています。

こんな方におすすめ

- クラスで駒場祭に出展するか悩んでいる
 - » 過去のクラスの事例を参考にアドバイスをします。
- 企画を出展したいが、企画内容が思いつかない
 - » 過去の企画例を参考に企画内容を考えるヒントをお示しします。また、団体内で企画内容を考えるための方法についてもお教えします。
- さまざまな企画案が出たが、一つに絞るのが難しい
- どのような企画をつくりたいのかの意見が割れている
 - » 各団体の状況に応じて最適な答えを導くお手伝いをします。

日時

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■ 15:00～17:00

■ 19:00～21:00

- 相談会は、原則として以下の日程で行われます。
 - » いずれにも参加できない場合は、後述の申込フォームにて、その旨を回答してください。
- 7月7日（木） 19:00～21:00
- 7月8日（金） 19:00～21:00
- 7月9日（土） 15:00～18:00
- 7月10日（日） 15:00～18:00
- 7月11日（月） 19:00～21:00
- 7月12日（火） 19:00～21:00

形式

- 平日は対面およびオンラインで実施します。
 - » 対面での相談会の開催場所につきましては、申込時に使用された ECCS クラウドメール宛に連絡します。また、公式 Twitter でもお知らせします。
 - » オンラインで参加される方は、以下のリンクから参加してください。
- 休日は Zoom を用いてオンラインのみで実施します。
 - » こちらのリンク <<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/86767964329?pwd=bnluVm96QXl6YkVvQXEwbTJWSHM1QT09>> から参加してください。

参加方法

- こちらの Google フォーム <<https://forms.gle/CTgfddU331rzXPa58>> からお申し込みください。
 - » 回答内容は、相談会でお話しする際の参考にします。
 - » 簡単でかまいませんので、回答していただけると幸いです。
- **事前の申込なしでもご参加いただけます。飛び入りでもぜひご参加ください！**
 - » 事前予約の方を優先する都合上、少々お待ちいただくことがあります。

企画支援制度

企画支援制度とは

- 上述の「企画出展相談会」に加え、企画をサポートする**企画支援制度**を用意しています。
- 相談会とは異なり、駒場祭当日までの**企画の立案・計画・運営のあらゆる面にわたって委員会が継続的にサポート**します。
 - » 具体的には、企画内容の提案、アドバイス、ウェブシステムにおける各種登録のサポートなどを行います。
- **手軽に企画を出展したい、あるいはより面白い企画を作りたい、**という願いに委員会が応えます。

制度の詳細

- 企画支援制度を利用する場合は、「**お手軽コース**」と「**本格コース**」のいずれかを選択していただきます。
- 「**お手軽コース**」では、企画の立案や準備の負担を減らすことができます。**企画出展を通して駒場祭当日を楽しみたい方におすすめ**です。
 - » 企画の立案や申請時にサポートを受けることができます。
- 「**本格コース**」では、企画の立案・計画・運営を全面的にサポートします。**準備段階から駒場祭にフルコミットしたい方におすすめ**です。
 - » 「**お手軽コース**」でのサポートに加え、企画の詳細を検討する際に委員からアドバイスを受けることができます。
- 以下の表は、2つのコースの違いを比較したものになります。
 - » 表の○印は、当該コースを選択することにより、そのサポートが利用できることを表します。
 - » ○印がないサポートについても、追加で利用することが可能です。

サポート内容	お手軽コース	本格コース
企画内容面談	○	○
企画書の記入と委員によるアドバイス		○
企画書面談		○
申請サポート	○	○

受けられるサポートの詳細

企画内容面談

- 企画出展手続き・各種登録締切(8月6日(土))までの間に企画の大まかな内容を確定させるために行います。
- 前述の「企画出展相談会」(→[p.14](#))の後、企画内における議論をもとに、委員のアドバイスも加味して、この面談で企画のジャンル・内容を確定させることができます。
- **企画出展手続き前に、企画内容のジャンル・内容について委員とともに考えることで、以降の準備をスムーズに進めることが可能です。**
 - » 企画出展相談会では主に実施可能な企画例を紹介し、クラス内で話し合っていたくための材料を提供します。一方、企画内容面談では、クラス内における意見や委員によるアドバイスをもとに実際に行う企画内容を決定することができます。

企画書の記入と委員によるアドバイス

- 企画出展手続き・各種登録締切(8月6日(土))のあと、企画の概要や企画場所のレイアウト、企画のコンテンツなどを記入する企画書を配布します。
 - » 企画書を完成させることで、**やるべきことが明確になり、駒場祭準備を円滑に進めることが可能になります。**
 - » 企画書を記入する過程を通じて、**自分たちの企画について深く考え、より良い企画を考えることが可能になります。**
 - » 企画書は、企画立案に必要な事項を凝縮した簡潔な構成になっているので、お気軽にご利用ください。
- 企画書の記入に関して、必要に応じて委員がアドバイスをします。

企画書の記入内容の一例

- 企画の概要
- 企画のターゲット
- 企画場所のレイアウト
- 準備スケジュール

企画書面談

- 委員と繰り返し面談を行う中で、企画書の記入を進めることができます。
 - » 第2段階における申請前に企画書を完成させることで、申請をスムーズに行うことが可能になります。
- 企画のやりたいことを実現するために、委員が的確なアドバイスをします。
- **企画自身では記入が難しい箇所も、委員によるアドバイスを受けながら記入することで、スムーズに企画書の記入を進めることができます。**

申請サポート

- 第2回企画代表者会議にて説明する各種登録を、委員がサポートします。
 - » 委員と一緒にウェブシステム上の申請を行うことができます。

利用申込

- 企画支援制度の利用を希望する企画は、原則として企画出展相談会に参加してください。
 - » 企画出展相談会については、「企画出展相談会」(→[p.14](#))を参照してください。
- ウェブシステムの「企画支援制度利用申請」に必要な情報を登録してください。
 - » 詳しくは、『Almighty vol. 1』記載の「企画支援制度」(→[p.34](#))を参照してください。

制度の活用例

こんな方はぜひご活用ください！

- 自分たちが考えた企画をより面白いものにしたい
 - » 「企画内容面談」で委員と一緒に自分たちの団体にあった企画内容を見つける
- 企画を実行するにあたって何を準備すればいいかわからない
 - » 「企画書」の記入を通して具体的な企画内容を検討する
- ウェブシステム上での申請が難しい
 - » 「申請サポート」を利用する

注意事項

- 企画内容の相談等については、「駒場祭企画サポートLINE」や「問い合わせ」にてご連絡いただければ、随時対応します。
- 今後、上記の各種サポートの内容に変更が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

駒場祭企画サポートLINE

- 企画出展手続きを行うまでは、「駒場祭企画サポートLINE」アカウントを使用して、委員会に連絡することができます。
- 右の二次元コードから友だち追加することができます。
 - » こちらのリンク<<https://lin.ee/iL1wLK9>>から追加することもできます。



- 委員会への質問・相談も本アカウントのトーク機能を用いて行うことができます。
- 企画出展手続き後は、ウェブシステムの「問い合わせ」を使用してください。
 - » 「問い合わせ」の使い方については、『Almighty vol. 1』を参照してください。また、相談会やLINEでも適宜説明します。

委員会への連絡手段まとめ

時期に応じて、以下のように連絡手段を使い分けてください。

時期	使用できる連絡手段
企画出展手続き（8月6日（土））前	駒場祭企画サポート LINE
企画出展手続き（8月6日（土））後	問い合わせ（ウェブシステム）

- 「問い合わせ」については、「委員会とのやりとり」（→[p.4](#)）および『Almighty vol. 1』を参照してください。
- 企画出展手続き前であっても、ウェブシステムの「ユーザー登録」を行った後は「問い合わせ」を使用することができます。
- 「駒場祭企画サポート LINE」および「問い合わせ」が何らかのトラブルにより使用できない場合は、委員会のメールアドレス(committee@komabasai.net)までご連絡ください。
 - » その際、内容がわかるような件名を記入した上で、本文に氏名・団体名を明記してください。また、可能であれば企画 ID・企画名を記入してください。

企画出展の手引き

2022年7月1日(金)発行

発行：第73期駒場祭委員会

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学構内 キャンパスプラザA棟1階103号室

TEL: 03-5454-4349 FAX: 03-3466-1865

Email: committee@komabasai.net